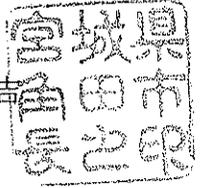




角 土 第 180 号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 殿

角田市長 佐藤 清 吉



中期的な計画にあたっての意見について (回答)

このことについて、別紙のとおり提出いたしますので、ご配慮よろしくお願
いいたします。

中期的な計画にあたっての意見について

道路は、地域産業経済の活性化を図り、市民生活の向上と地域づくりを支える最も基本となる社会資本であり、生活基盤となる道路整備は最優先課題であります。

これからの地方の時代に向けて、高速道路の整備はもちろん地域間交流ネットワークの構築による一般国道・アクセス道路・地方道（主要地方道・一般県道・主要市道）の整備が重要かつ緊急の課題になっております。

しかしながら、本市における道路整備の実態は、未だ立ち遅れている状況にあり、地域住民の道路整備を求める声には切実なものがあります。

よって、国におかれましては、地域の道路整備の重要性を深く認識され、特段のご配慮をいただけるよう切に要望するものであります。

1 連絡道路網の整備

高速道路（東北自動車道・常磐自動車道）へのアクセス整備として、現在、常磐自動車道から約6.2km整備中ではありますが、宮城県南部における地域集積圏内主要都市の連絡強化及び高速自動車道間の東西軸並びに東北新幹線白石・蔵王駅との連絡強化の必要から、残計画事業について早急なる整備を要望するものである。

2 大規模災害時に備えた安全・安心の道路整備

今後の大地震発生確率が高いことから、大規模災害による被害を最小限にとどめることが必要であり、災害における緊急輸送道路網の確保や橋梁などの道路施設等の耐震補強を引き続き推進することが重要である。

また、本市にとっては、阿武隈川により地域間が東西に分断されていることから、枝野橋・角田橋・東根橋の重要度が高く、安全・安心で通行できるよう確保することが重要になっている。

3 交通事故対策の推進

角田市高倉地内に西根小・中学校があり、多くの児童、生徒が国道113号を通学路として利用している。

本路線は、角田市と白石市を結ぶ重要路線であることから、大型車両や通勤車両が増大していること、さらにこの区間はカーブの多い坂道であり見通しが悪いことから、歩行者や自転車等の安全確保のため、歩道等の整備促進について要望する。

角田市小坂地内については、平成11年度より交通安全等整備事業が実施されておりますが、現在、約1/3の進捗状況になっている。

本箇所は、一級河川「阿武隈川」の堤防を国道349号として利用しており、近年の交通量の増加、特に大型車両の増加により、歩道未整備区間での歩行者・自転車等が大変危険な状況にあることから、事業の促進と早急なる整備完了を要望するものである。

4 その他、道路政策や道路整備・管理全般に関する意見

本市の市道は、約583kmとなっております。しかし、改良率は幹線道路では88%となっておりますが、その他の道路を加えると改良率は68%と低く、維持管理や除雪等に多額の費用を費やしております。さらに橋梁耐震補強及び大規模地震への対策が大幅に立ち遅れている状況にあります。今後、道路維持管理費、耐震補強工事費の大幅な増加が見込まれる中、財源不足のため対応できない現状であります。

よって、道路特定財源を一般財源化することなく、必要な財源を確保の上、計画的に市道の整備に補助されることをお願いいたします。